

平成6年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動」― 一人一人を生かす指導と評価の在り方 ―

◎ 研究集録発刊にあたって 部会長 清水 敏宏

- ・ 現行（H7）の教育課程の利用状況や実施上の問題点についてのアンケート結果についての考察。
- ・ 「自主的・実践的態度」「生き方についての自覚」などをねらいとする意欲・態度面の教育的意義の重要性について。

◎ 研究基本方針「豊かな人間性を育てる特別活動 ― 「一人一人を生かす指導と評価の在り方」

- ・ 一人一人が十分力を発揮でき、豊かな人間性を育てることができるようにするための研究の重点について。
- ・ 新しい学力観と特別活動について。
- ・ 特別活動の中核となる資質〈関心・意欲・態度〉を高めるために他の能力や資質との相互関係の必要性について。

◎ 研究経過概要

小学校編

◎ 学級活動（1）

実践例1 題材「おばけ大会をしよう」（1年）

実践例2 題材「楽しい運動会の応援をしよう」（5年）

◎ 学級活動（2）

実践例1 題材「世界の人々の暮らし」（5年）

実践例2 題材「道路の危険」（6年）

実践例3 題材「分団登校での悩み」（6年）

◎ 児童会活動

実践例1 題材「たてわりジャンボ遊びをしよう」

実践例2 題材「みんなで楽しめる国際交流七夕まつりにしよう」

◎ クラブ活動

実践例1 題材「みんなと楽しく行うための活動計画を立てよう」

実践例2 題材「仲良く活動発表会をしよう」

実践例2 題材「協力してネイチャーゲームをしよう」

◎ 学校行事

実践例 1 題材「みんなで作る卒業式」(6年)

実践例 2 題材「みんなが楽しく参加する野外学習」(5年)

第2部 中学校編

◎ 学級活動

実践例 1 題材「将来の希望」(1年)

実践例 2 題材「学級の係を決めよう」(2年)

実践例 3 題材「わたしの進路計画」(3年)

◎ 生徒会活動

実践例 1 題材「学級アートの進め方を考えよう」(1年)

実践例 2 題材「応援コンクールの内容を決めよう」(全学年)

◎ 評価基準編

評価基準の基本的な考え方

小学校編 学級活動

児童会活動

クラブ活動・学校行事

中学校編 学級活動

生徒会活動・クラブ活動・学校行事

◎ 後記

委員長 加藤 唯明

- ・ 新しい学力観が言われるようになってから、特別活動の指導を通して、どのような資質や能力を育成したらよいのか、そのためにどのような指導方法をとるとよいのか課題となってきた。